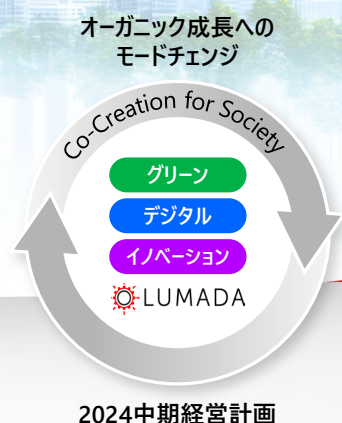


日立グループ 経営計画「Inspire 2027」

真のOne Hitachiでハーモナイズドソサエティの実現に貢献し、持続的に成長

デジタルセントリック企業への変革を実現するという揺るぎない決意を示すため、長期目標として「Lumada 80-20」を設定しました。

このめざす水準に向けて、経営計画「Inspire 2027」では、これまで以上に、キャッシュフロー強化、キャピタルアロケーション最適化、そしてポートフォリオ改革を加速するとともに、日立グループ28万人の力を「真のOne Hitachi」として統合し、企業価値のさらなる向上をめざします。そして、持続的成長を実現して、日立を次のステージへ引き上げ、ハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。



真のOne Hitachiによる
持続的成長

Inspire 2027
(2025～2027年度)



経営の長期目標

めざす水準

Lumada 80-20

売上収益比率

80%

Adj. EBITA率

20%

社会イノベーション（インパクト）の例

脱炭素 資源循環 エネルギー需要拡大と 脱炭素化の両立	1億トン／年 ^{*1*2}
鉄道サービス 社会インフラ整備・高度化と 暮らしの安心・安全の両立	のべ 200億人／年 ^{*1}
AI活用アプリケーション 現場生産力拡大と ワーカー負荷軽減の両立	20億人／年 ^{*1}
体外検査・診断 治療 がん治療と就労・ 社会参加の両立	のべ 10億人／年 ^{*1}

*1 提供価値は、めざす水準(当社試算)を示す

*2 温室効果ガス排出削減貢献量

Inspire 2027 目標

売上収益*3		CAGR 7～9%
Adj. EBITA率*4		13～15%
キャッシュフローコンバージョン*5		90%超
ROIC		12～13%
Lumada	売上収益比率	50%
	Adj. EBITA率	18%

*3 3年CAGR

*4 新定義のAdj. EBITA：調整後営業利益から買収に伴う無形資産等の償却費を足して算出した指標

*5 コアFCF/当期利益（特殊要因除き）

「真のOne Hitachi」で推進するInspire 2027のポイント

- ▶ 「Lumada 80-20」をめざしてデジタルセントリック企業へ変革 [P.14 Lumadaの進化](#)
- ▶ Lumadaをコアに主力4事業を強化 [P.17 主力4事業戦略](#)
- ▶ 「次なる成長の柱」を創生 [P.16 研究開発戦略/知的財産戦略](#)
- ▶ 価値創出を支えるキャピタルアロケーションの最適化 [P.25 CFO and CRMOメッセージ](#)
- ▶ 成長志向を支える経営基盤の強化 [P.25 CFO and CRMOメッセージ](#) [P.30 サステナビリティ戦略](#) [P.34～コーポレートガバナンス](#)